
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第3週
(1月14日～1月20日)

- * 2008年1月23日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2007年12月)の疾患及び感染症豆知識
「メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症」も掲載しています。

平成20(2008)年1月24日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週		3週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
二類	ラッサ熱							
	急性灰白髄炎							
	結核	66	23	80	48	151	240	716
	ジフテリア							
三類	重症急性呼吸器症候群 *							
	コレラ	1						1
	細菌性赤痢	1		3	3	6	7	22
	腸管出血性大腸菌感染症	2		1		1	9	37
	腸チフス			1		1		1
パラチフス			1		1		1	
四類	E型肝炎							1
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1			1		6
	エキノкокクス症							
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱	1						
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病	2	1	1	1	3	5	25
	デング熱			1	1	2	1	5
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア			1	1	2		1	
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症			1		1	8	30	
レプトスピラ症	1							
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4		4	2	6	10	18
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1			1	1	7
	急性脳炎 **	1			1	1	3	6
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1						2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			2	1	3	2	7
	後天性免疫不全症候群	5	1	12	5	18	8	29
	ジアルジア症	1			1	1	1	3
	髄膜炎菌性髄膜炎							
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4		2	3	5	7	17
	破傷風			1	1	2		3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							
	風しん #						7	13
麻しん #		3	7	16	26	180	388	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/1/23集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

2008年1週より全数把握対象疾患に変更

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 48件 肺結核35件、その他13件で、推定感染地はすべて国内であった。年齢は10歳代1件、20歳代3件、30歳代9件、40歳代7件、50歳代5件、60歳代4件、70歳代10件、80歳代6件、90歳代3件であった。70歳代1件の死亡が報告されている。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 3件 フレキシネル2件、ソネ1件で、推定感染地はインド、エジプト、東南アジアが各1件、推定感染経路は飲食物による経口感染2件、不明1件であった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 1件 推定感染地は都内多摩地域であった。

デング熱 1件 推定感染地はタイであった。

マラリア 1件 三日熱マラリアで、推定感染地はパプアニューギニアであった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 いずれも腸管アメーバ症で、推定感染地はマレーシア/タイ/シンガポール1件、不明1件、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、不明1件であった。

急性脳炎 1件 1歳の患者で、病原体は不明であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 G群で、患者は5歳未満。創傷感染が疑われている。

後天性免疫不全症候群 5件 無症候キャリア3件、AIDS 2件であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路はすべて同性間性的接触であった。

ジアルジア症 1件 推定感染地はインドで、飲食物による経口感染が疑われている。

梅毒 3件 早期顕症梅毒Ⅱ期2件、晩期顕症梅毒1件で、推定感染経路はいずれも性的接触(異性間2件、同性間1件)であった。

破傷風 1件 60歳代で、感染経路は不明。

麻しん 16件 麻しん(検査診断例)5件、麻しん(臨床診断例)8件、修飾麻しん(検査診断例)3件で、年齢は1歳1件、9歳1件、10歳代3件、20歳代7件、30歳代4件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し4件、1回4件、不明8件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年3週

定点種別	対象疾患	2007年	2008年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		52週	1週	2週	3週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	83	17	44	17	0.11	150	150
	咽頭結膜熱	39	11	37	38	0.25		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	191	34	167	225	1.50		
	感染性胃腸炎	2,051	447	1,689	1,318	8.79		
	水痘	271	152	327	152	1.01		
	手足口病	26	1	14	10	0.07		
	伝染性紅斑	25	14	44	31	0.21		
	突発性発しん	64	18	79	77	0.51		
	百日咳	2	0	1	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	2	1	4	2	0.01		
	流行性耳下腺炎	33	7	52	29	0.19		
	不明発しん症 (注1)	7	1	6	10	0.07		
	MCLS (川崎病) (注1)	1	0	6	3	0.02		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	2,220	567	1,529	1,595	5.52	289	290
眼科	急性出血性結膜炎	2	0	0	0	0.00	38	39
	流行性角結膜炎	17	7	22	14	0.37		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	0	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	0	1	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	5	3	3	6	0.25		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	0	0.00		

2008/1/23集計

(注1) 不明発しん症、MCLS (川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。過去の推移を参考にすれば、今シーズンのピークは過ぎたものと判断され、今後緩やかに減少していく可能性が高い。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は微増した。さらに増加する可能性もあるため、今後の推移に注意が必要である。
- ・百日咳の定点当たり報告数は微増した。2006年の同時期と比較してやや少なく、2006年後半のような規模の発生が今後も続くかどうかは不明である。

(定点医療機関からのコメント)

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年3週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	3			11	3			5		
～11か月	2	1	3	46	15			33	1	
1歳	7	6	8	145	33	7		35		1
2歳	3	4	11	88	23	2		3		1
3歳	1	8	24	85	21	1	2			
4歳		1	30	81	22		5	1		
5歳		6	23	79	10		2			
6歳		2	35	83	7		4			
7歳		5	17	64	3		2			
8歳			11	64	5		4		1	
9歳			12	46	1		4			
10～14歳		3	14	160	4		6			
15～19歳			4	66						
20～29歳	1	2	33	300	5		2			
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	17	38	225	1318	152	10	31	77	2	2
先週比	-27	1	58	-371	-175	-4	-13	-2	1	-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2		4		
～11か月		1	1	21		
1歳	2	2	1	71		
2歳	3	1		63		
3歳	3			82		
4歳	11	1		129		
5歳	3	1	1	147		
6歳	2			111		
7歳	1			114		
8歳				74		
9歳	1			67		
10～14歳	2			146		
15～19歳		1		67		
20～29歳	1	1		122		5
30～39歳				199		3
40～49歳				116		3
50～59歳				33		1
60～69歳				18		2
70～79歳				10		
80歳以上				1		
合計	29	10	3	1595		14
先週比	-23	4	-3	66		-8

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】2008年3週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		1
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		1
10～14歳		2
15～19歳		1
20～29歳		7
30～39歳		4
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		16

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年3週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0
中央区	0	0	4	7	0	1	1	3	0	0
みなと	2	4	12	55	10	0	0	5	0	1
新宿区	0	1	11	52	5	0	0	1	0	0
文京	0	0	10	7	2	0	0	0	0	0
台東	1	2	5	20	0	0	0	2	0	0
墨田区	0	0	4	16	5	0	1	1	0	0
江東区	0	0	3	70	5	0	1	4	0	0
品川区	0	0	7	69	3	1	2	3	0	0
目黒区	0	0	3	12	3	0	0	0	0	0
大田区	2	9	7	106	11	0	6	3	0	0
世田谷	0	1	4	60	10	0	1	2	0	0
渋谷区	0	1	0	34	2	0	0	0	0	0
中野区	0	0	9	73	7	2	0	5	0	0
杉並	0	0	1	65	5	0	0	2	0	0
池袋	0	0	0	21	1	0	0	0	0	0
北区	0	2	1	52	7	0	2	2	0	0
荒川区	1	0	5	13	0	1	0	1	0	0
板橋区	0	0	1	38	1	0	1	1	0	0
練馬区	0	1	2	26	5	1	1	2	0	0
足立	0	1	3	47	3	0	3	5	0	0
葛飾区	0	0	6	37	10	0	0	3	0	0
江戸川	2	6	21	42	2	0	0	4	0	0
八王子市	0	3	16	64	5	0	0	11	0	0
西多摩	0	0	10	37	8	0	0	1	0	0
南多摩	3	2	9	35	7	1	1	4	0	0
町田	0	2	50	88	13	2	7	2	0	1
多摩立川	0	0	2	26	2	0	1	0	0	0
多摩府中	3	0	8	52	4	0	1	4	0	0
多摩小平	3	3	11	89	15	1	2	5	1	0
島しょ	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
東京都合計	17	38	225	1,318	152	10	31	77	2	2

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数
【保健所別】2008年3週

小児科			インフルエンザ	眼科	
流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
0	1	0	8	0	0
0	0	0	9	0	1
2	0	2	22	0	0
1	1	0	49	0	3
0	0	0	14	0	0
0	0	0	14	0	0
0	0	0	31	0	0
2	0	0	70	0	0
0	1	0	41	0	0
2	0	0	15	0	0
0	0	0	87	0	0
6	0	0	98	0	0
0	0	0	21	0	0
0	0	0	45	0	1
1	0	0	48	0	0
0	0	0	46	0	0
1	0	0	31	0	0
4	0	0	17	0	0
1	0	0	20	0	2
1	0	0	66	0	2
3	0	0	45	0	0
1	0	0	51	0	0
1	0	0	79	0	1
0	2	0	114	0	1
0	0	0	100	0	0
1	1	1	66	0	1
1	3	0	55	0	0
0	0	0	75	0	0
0	0	0	102	0	0
1	1	0	150	0	2
0	0	0	6	0	0
29	10	3	1,595	-	14

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		1
みなと		
新宿区		
文京		1
台東		
墨田区		
江東区		1
品川区		
目黒区		
大田区		1
世田谷		2
渋谷区		1
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		1
板橋区		2
練馬区		2
足立		
葛飾区		2
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		1
町田		
多摩立川		1
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		
東京都合計	-	16

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年3週

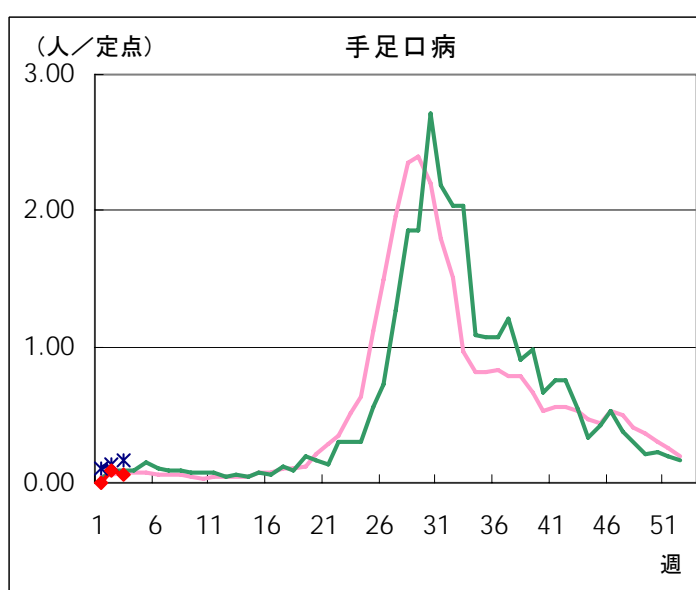
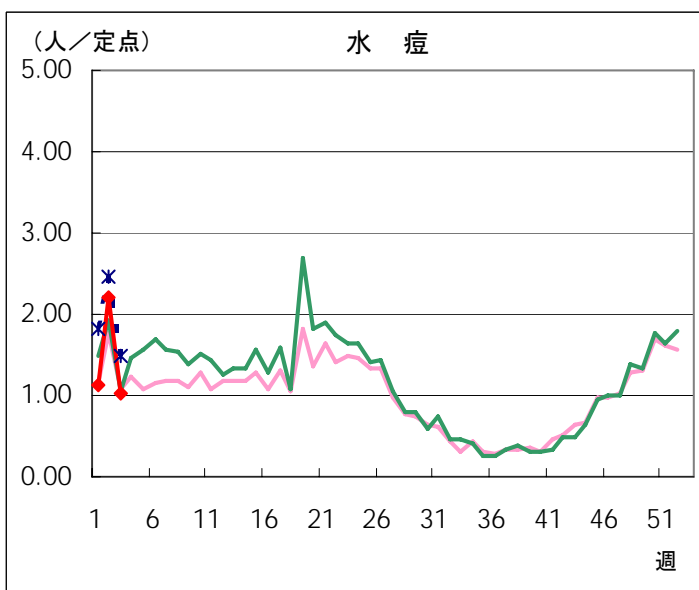
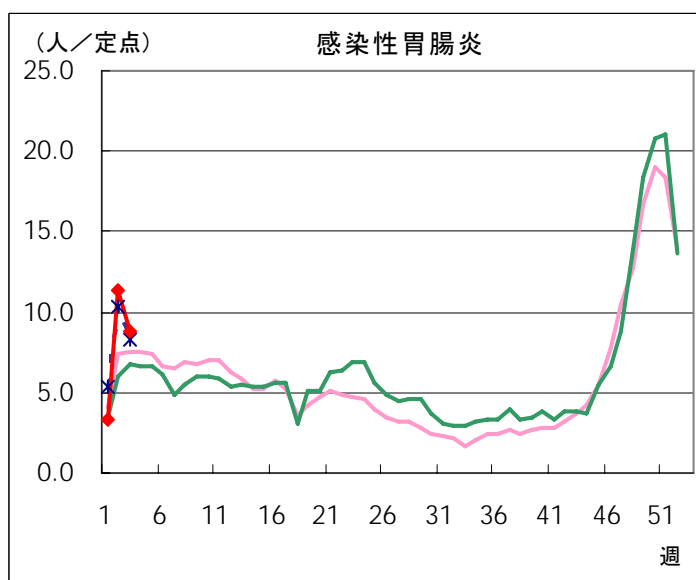
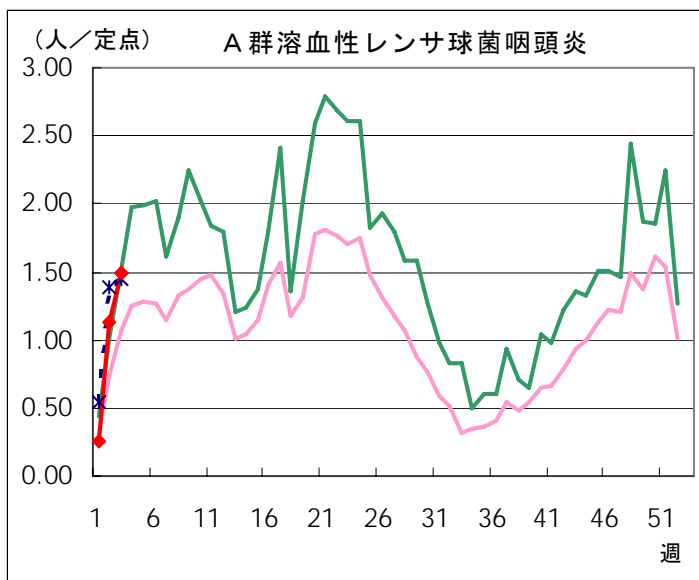
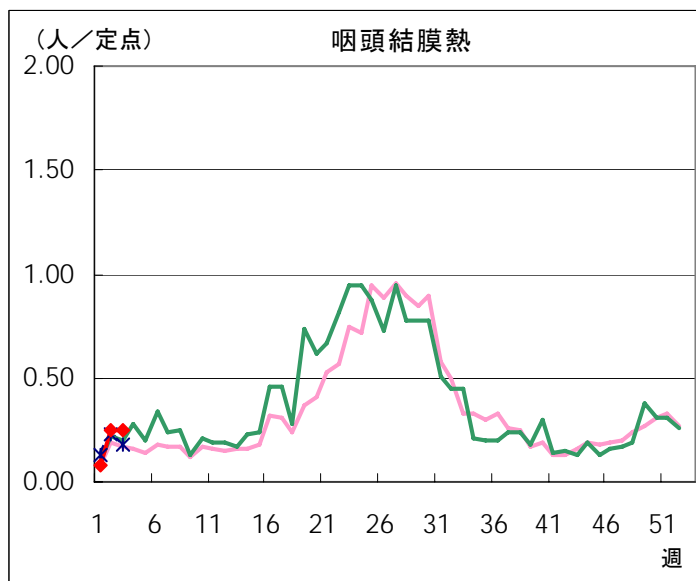
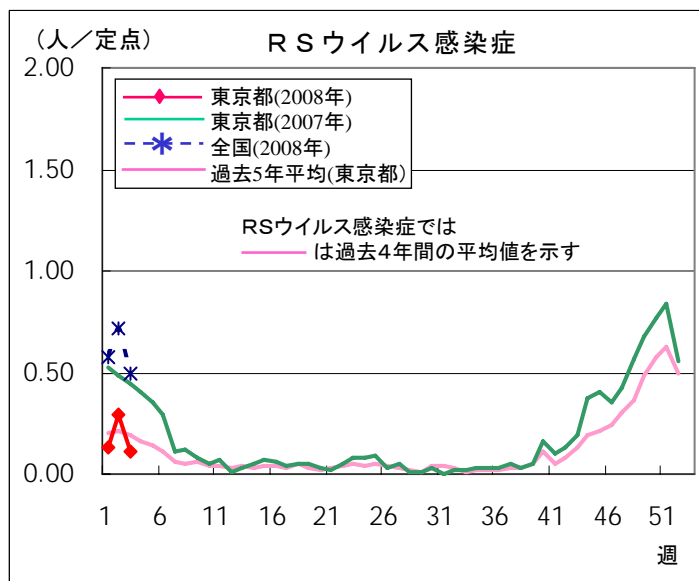
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				0.75	0.25				0.25	
中央区			1.33	2.33		0.33	0.33	1.00		
みなと	0.33	0.67	2.00	9.17	1.67			0.83		0.17
新宿区		0.17	1.83	8.67	0.83			0.17		
文京			3.33	2.33	0.67					
台東	0.33	0.67	1.67	6.67				0.67		
墨田区			1.33	5.33	1.67		0.33	0.33		
江東区			0.75	17.50	1.25		0.25	1.00		
品川区			1.17	11.50	0.50	0.17	0.33	0.50		
目黒区			1.00	4.00	1.00					
大田区	0.22	1.00	0.78	11.78	1.22		0.67	0.33		
世田谷		0.13	0.50	7.50	1.25		0.13	0.25		
渋谷区		0.25		8.50	0.50					
中野区			1.50	12.17	1.17	0.33		0.83		
杉並			0.17	10.83	0.83			0.33		
池袋				4.20	0.20					
北区		0.50	0.25	13.00	1.75		0.50	0.50		
荒川区	0.50		2.50	6.50		0.50		0.50		
板橋区			0.17	6.33	0.17		0.17	0.17		
練馬区		0.20	0.40	5.20	1.00	0.20	0.20	0.40		
足立		0.20	0.60	9.40	0.60		0.60	1.00		
葛飾区			1.50	9.25	2.50			0.75		
江戸川	0.40	1.20	4.20	8.40	0.40			0.80		
八王子市		0.75	4.00	16.00	1.25			2.75		
西多摩			2.00	7.40	1.60			0.20		
南多摩	0.75	0.50	2.25	8.75	1.75	0.25	0.25	1.00		
町田		0.50	12.50	22.00	3.25	0.50	1.75	0.50		0.25
多摩立川			0.33	4.33	0.33		0.17			
多摩府中	0.30		0.80	5.20	0.40		0.10	0.40		
多摩小平	0.50	0.50	1.83	14.83	2.50	0.17	0.33	0.83	0.17	
島しょ				2.00				1.00		
東京都	0.11	0.25	1.50	8.79	1.01	0.07	0.21	0.51	0.01	0.01

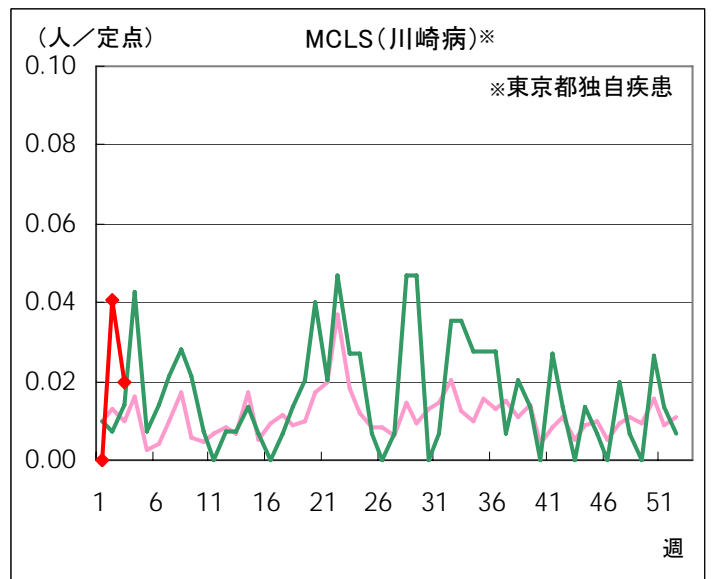
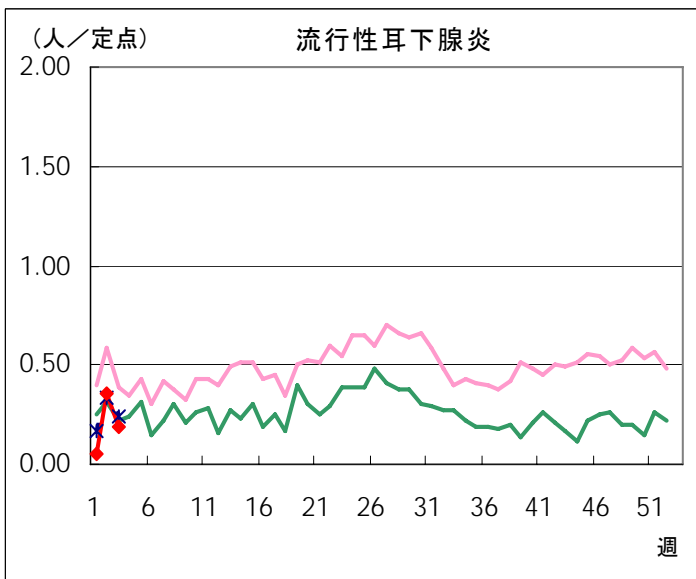
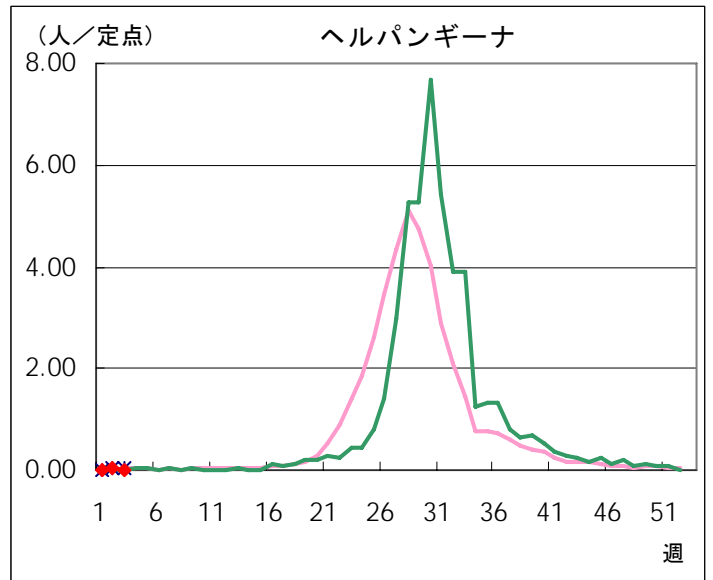
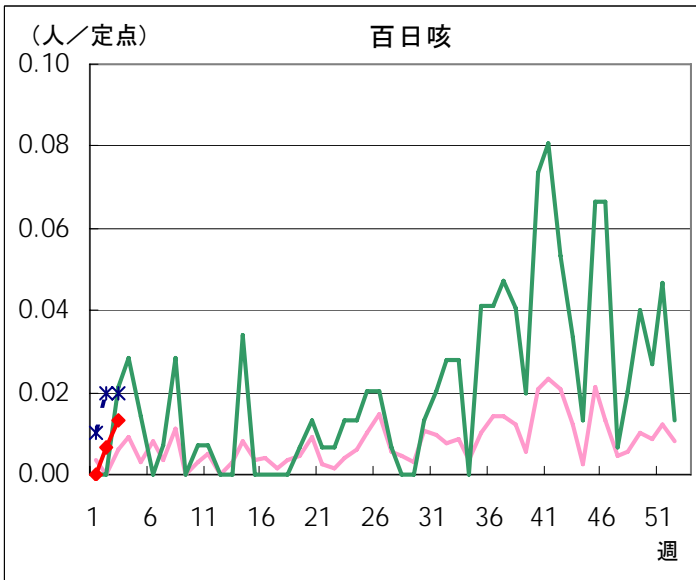
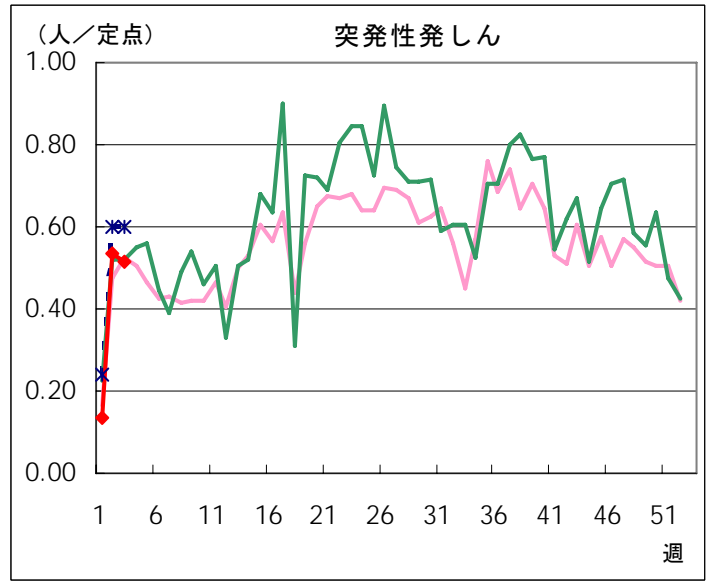
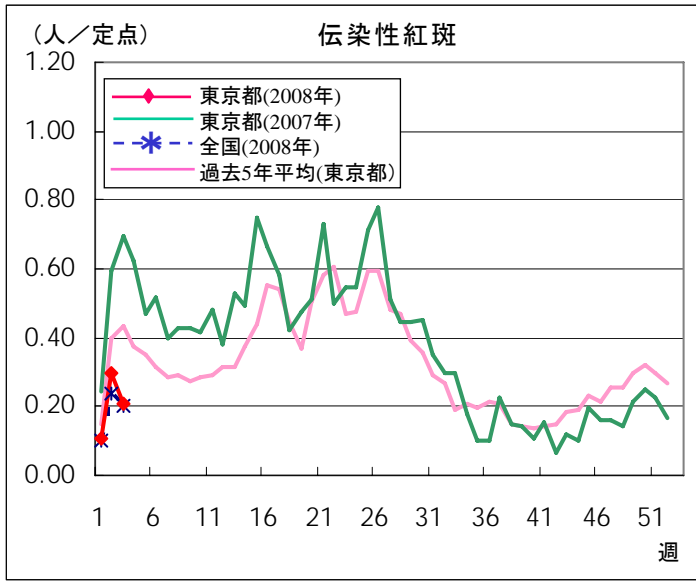
小児科			インフルエンザ	眼科	
流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎
	0.25		1.60		
			2.25		1.00
0.33		0.33	2.75		
0.17	0.17		5.44		1.50
			2.80		
			2.80		
			5.17		
0.50			7.78		
	0.17		4.10		
0.67			2.50		
			5.44		
0.75			6.13		
			3.50		
			5.00		1.00
0.17			4.00		
			5.75		
0.25			4.43		
2.00			4.25		
0.17			1.67		1.00
0.20			5.50		1.00
0.60			3.75		
0.25			5.67		
0.20			6.58		0.50
	0.50		11.40		0.50
			11.11		
0.25	0.25	0.25	7.33		1.00
0.25	0.75		6.11		
			5.77		
			4.86		
0.17	0.17		10.71		1.00
			3.00		

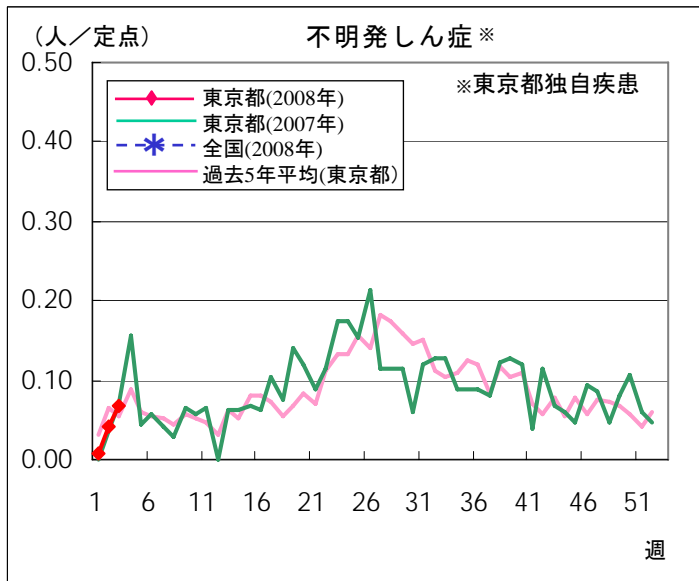
0.19	0.07	0.02	5.52	-	0.37
------	------	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年3週現在

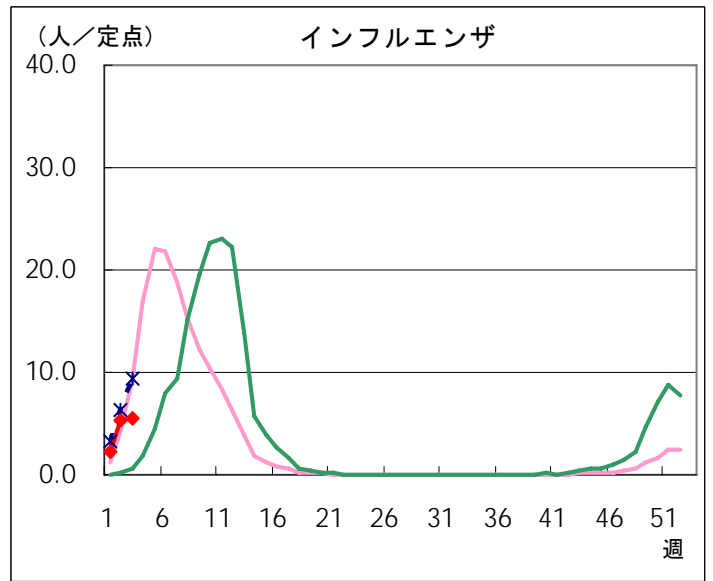
◆ 小児科定点



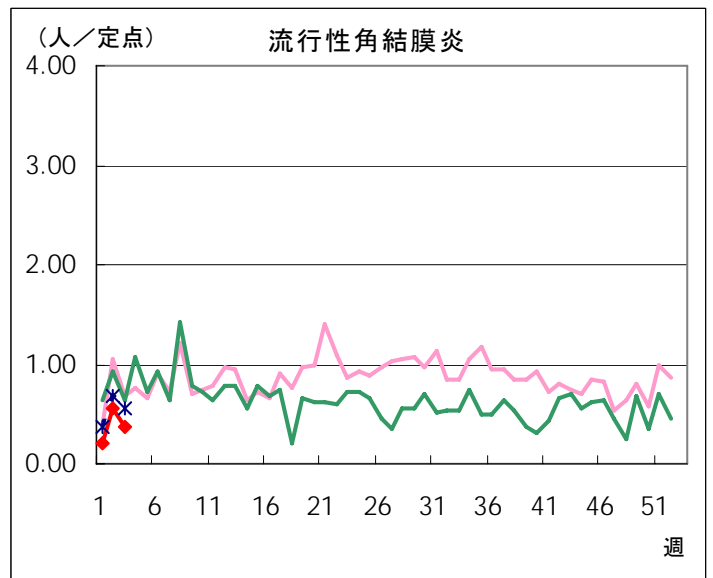
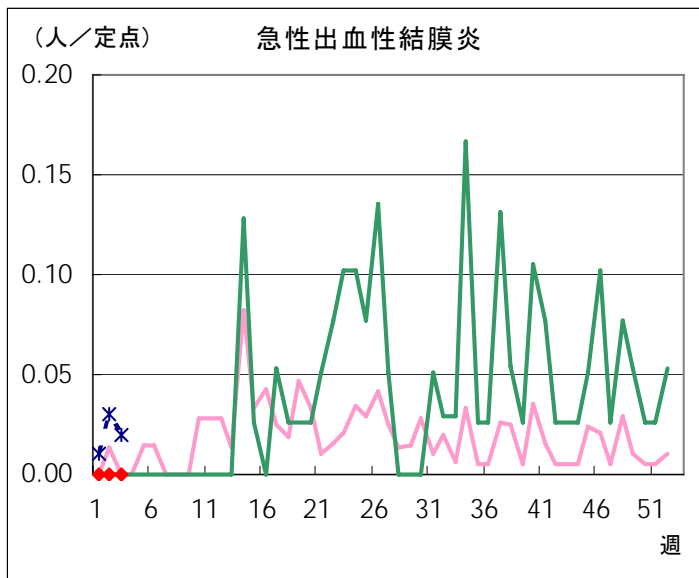




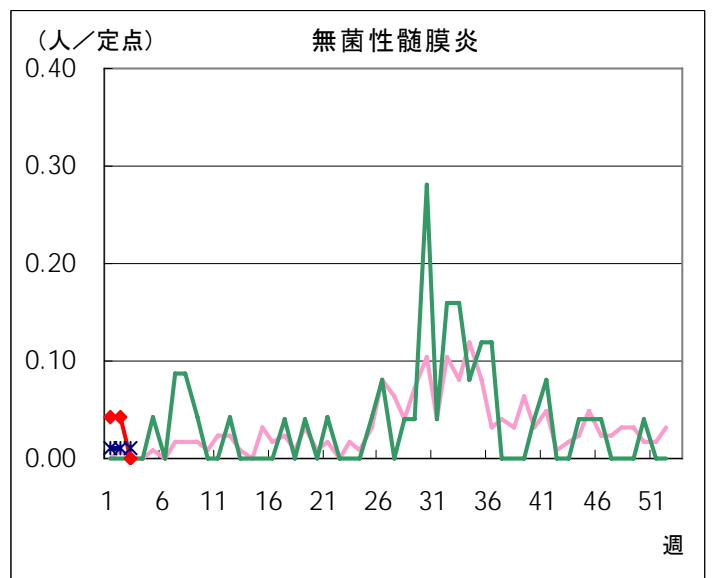
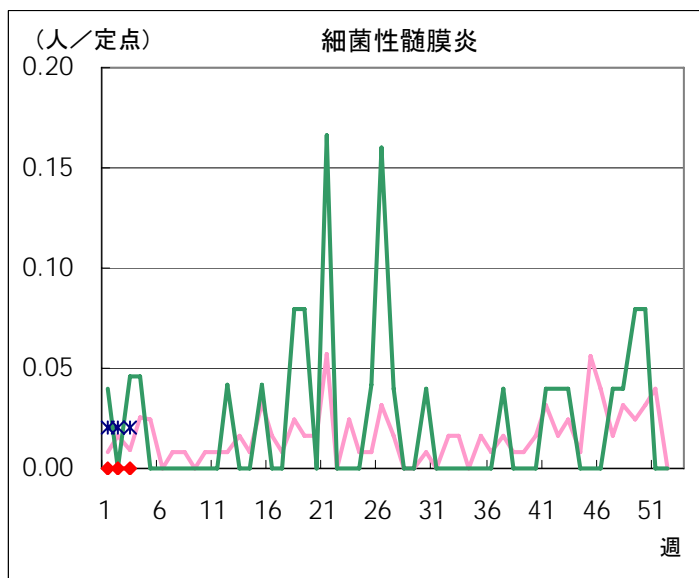
◆ インフルエンザ定点

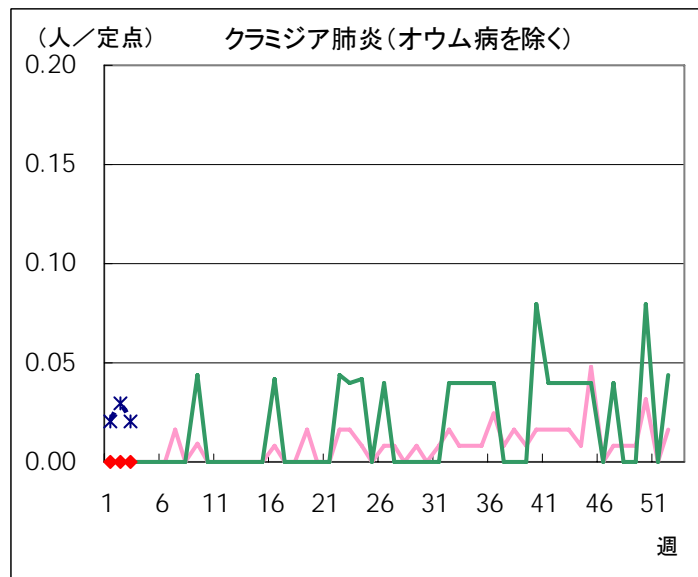
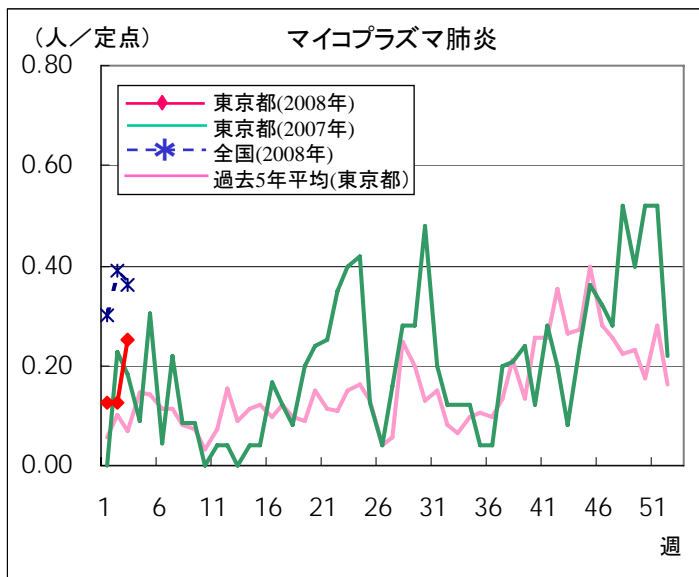


◆ 眼科定点



◆ 基幹定点





定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと			患者3名、そろそろインフルエンザの患者がみられるようになった。
	1		
	7		
新宿区	1		
		1	
	5		
墨田区	9		
品川区	3		
	11	3	
目黒区	3		
	8		
	4		
大田区	9		患者はワクチン2回接種していた。
	1		
	2		
	6		
	6		
	5		
	6		
	4		
6			
世田谷	11		
	2		
	5		
	2		
	1		
中野区	2	1	
	19		
	1		
	5		
	2		
池袋			患者3名。うちワクチン接種済者1名。 A型1名は9歳男児、B型2名は3歳男児と4歳女児
	6		
	1	2	
北区	4		患者8名。成人を中心に小流行がある。
	7	1	
足立	5	1	B型1名は5歳男児。 患者4名。A型は2名。
西多摩	3		
	34		
	4		
多摩立川	10		その他症状により診断した者2名あり。
	5		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
多摩府中	7		患者7名中5名はタミフル使用せず、2名はタミフル使用。7名すべてに神経精神症状なし。
	12		
多摩小平	7		
	5		
	6		
	4		
	9		
八王子市	11		
	22		
	5		
	33		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
12/27	感染性胃腸炎	68	糞便	ノロウイルス	遺伝子
12/28	インフルエンザ	11	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	インフルエンザ	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	急性胃腸炎 けいれん	2	直腸拭い液	ノロウイルス	
1/4	インフルエンザ	13	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	インフルエンザ	25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	インフルエンザ	23	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	インフルエンザ	4	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	インフルエンザ	?	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/4	インフルエンザ	27	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/5	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/5	インフルエンザ	24	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/5	インフルエンザ	30	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/5	インフルエンザ	44	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/7	肺炎	3M	直腸拭い液	RSウイルス	
1/7	流行性角結膜炎	34	結膜拭い液	アデノウイルス	
1/7	インフルエンザ	37	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/7	急性咽頭気管支炎	1	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/7	アデノウイルス感染症	11M	うがい液	エンテロウイルス	
1/7	インフルエンザ	31	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/7	インフルエンザ	58	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
1/7	インフルエンザ	32	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/7	インフルエンザ	28	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/7	インフルエンザ	41	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/8	急性細気管支炎	2W	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/8	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/8	インフルエンザ	39	うがい液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/8	急性胃腸炎	8	直腸拭い液	ノロウイルス	
1/8	インフルエンザ	16	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/9	感染性下痢症	62	糞便	ノロウイルス	
1/9	インフルエンザ	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/9	インフルエンザ	33	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/9	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	遺伝子
1/10	急性細気管支炎	1M	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/10	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/10	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型	
1/10	インフルエンザ	42	うがい液	インフルエンザウイルスAH1型	
1/11	不明発しん症	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
記載無し	熱性けいれん 上気道炎	1	記載無し	RSウイルス	

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2007/2008年							
		46	47	48	49	50	51	52+1	2
ウイルス	アデノウイルス	3	2	19	16	20	10	1	2
	ライノウイルス		1			5	1	3	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	4	6	10	6	4	2		1
	単純ヘルペスウイルス			3	2				1
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	1		6	5	2	2	1	
	EBウイルス			2	1		2	1	
	サイトメガロウイルス	1		1	2			1	
	ムンプスウイルス	1		1			1		
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19		1						
	RSウイルス	3	5	2	6	13	8	3	8
	ノロウイルス	1	2	15	18	9	8	4	5
	ロタウイルス	1							
インフルエンザウイルスAH1	2	6	3	10	5	22	8	25	
インフルエンザウイルスAH3								1	
インフルエンザウイルスB				1					
デングウイルス									
その他のウイルス						1	2		
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌	1			1	1	1		
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2007年46週～2008年2週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	135	35	75	95	33			9			3	7	8				118	
ウイルス	アデノウイルス	9	18	14	19			2			2	1	1				7	
	ライノウイルス	2	3	4	1													2
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		4	9	11	1						2	1					5
	単純ヘルペスウイルス				1	3												2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7			2		1						1						13
	EBウイルス													3				3
	サイトメガロウイルス			1	1													3
	ムンプスウイルス													3				
	麻疹しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス	1	7	38	1													1
ノロウイルス			1	58													3	
ロタウイルス				1														
インフルエンザウイルスAH1	76	1	4															
インフルエンザウイルスAH3	1																	
インフルエンザウイルスB	1																	
デングウイルス																		
その他のウイルス			1	2														
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
その他の細菌	2		1								1							
その他の病原体																		

月報

性感染症(STI)患者報告数【年齢階級別】 2007年12月

男						
年齢階級	* 膣トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			1	2	1	5
20～24歳			17	1	5	8
25～29歳	1		22	6	10	20
30～34歳		1	19	8	6	14
35～39歳		1	15	9	7	9
40～44歳		1	11	7	7	8
45～49歳		1	3	2		5
50～54歳		1	6	1		1
55～59歳		1	3	4	1	
60～64歳		1	1		1	
65～69歳					1	
70歳～					1	
合計	1	7	98	40	40	70
先月数	2	3	111	48	48	72
増減数	-1	4	-13	-8	-8	-2

女						
年齢階級	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			9	1	2	1
20～24歳	2		41	5	7	5
25～29歳	4		25	13	8	
30～34歳	1	1	18	4	5	
35～39歳	1		3	4	3	
40～44歳	1	1	4	1	2	
45～49歳	2	1	3			1
50～54歳				1		
55～59歳	1		1	4	1	
60～64歳				1		
65～69歳	2					
70歳～				1		
合計	14	3	104	35	28	7
先月数	14	5	108	32	31	14
増減数	0	-2	-4	3	-3	-7

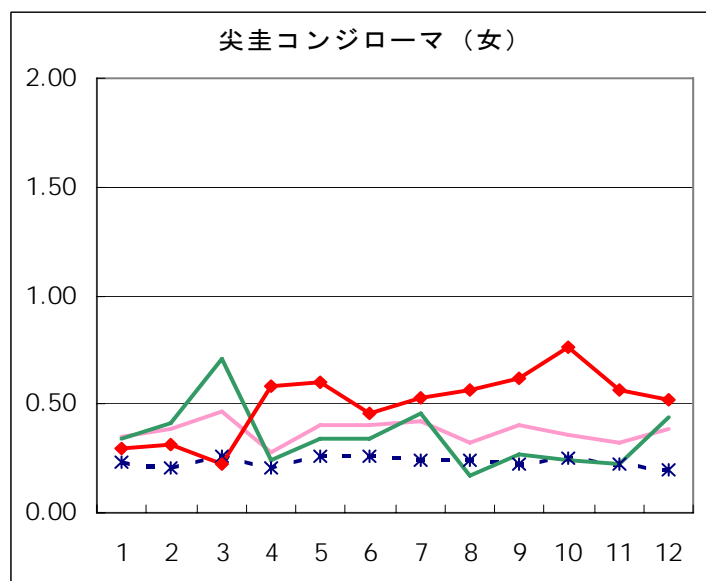
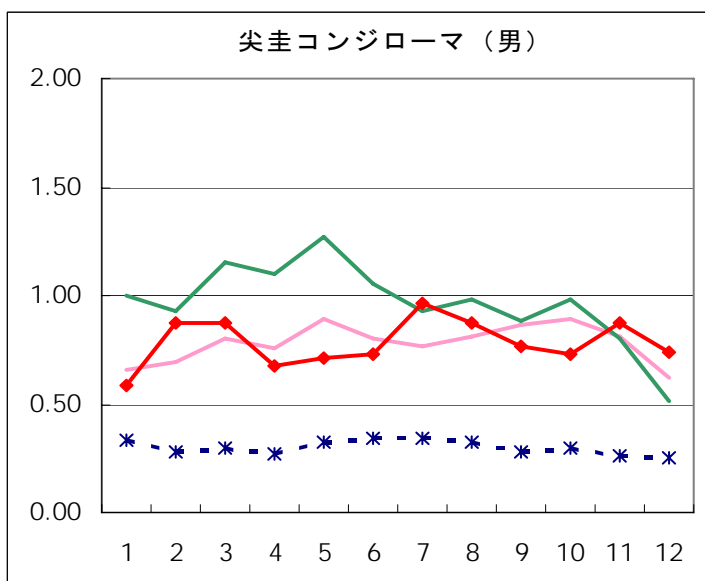
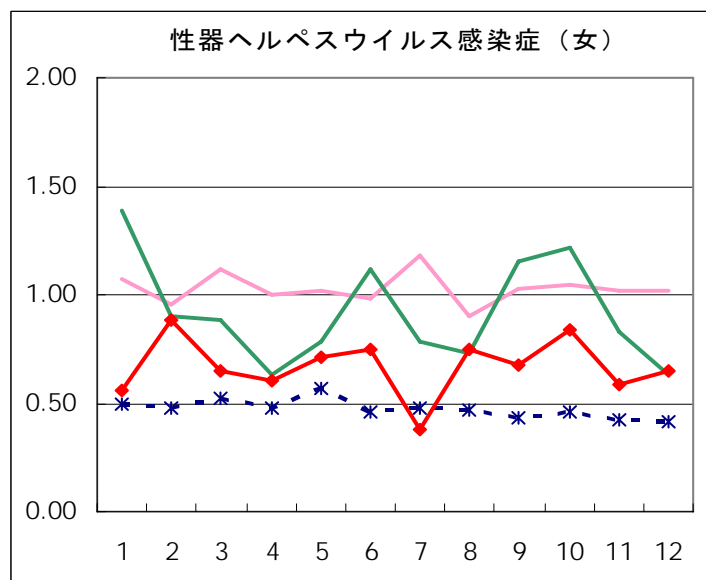
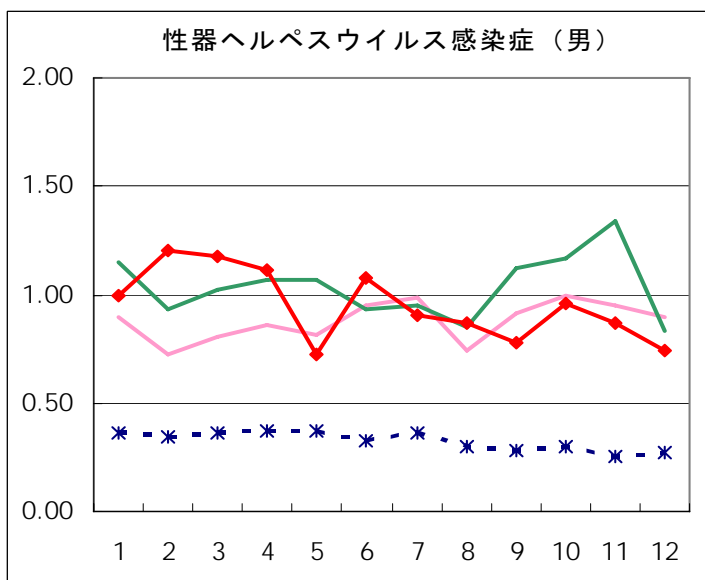
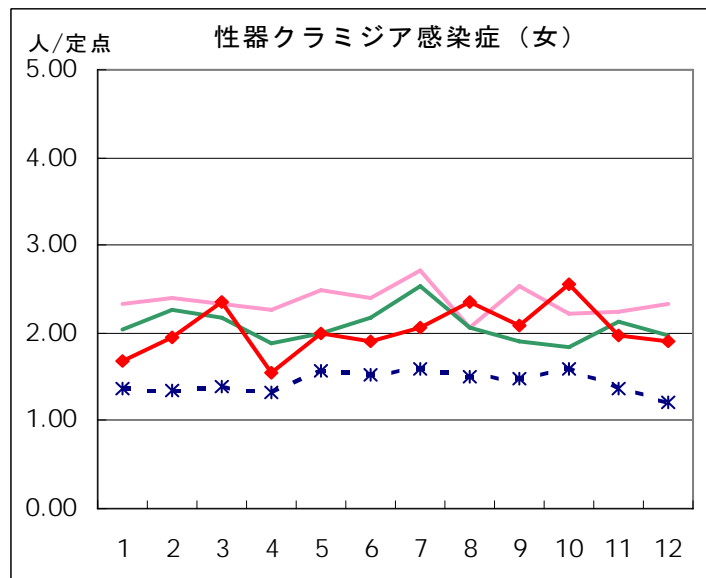
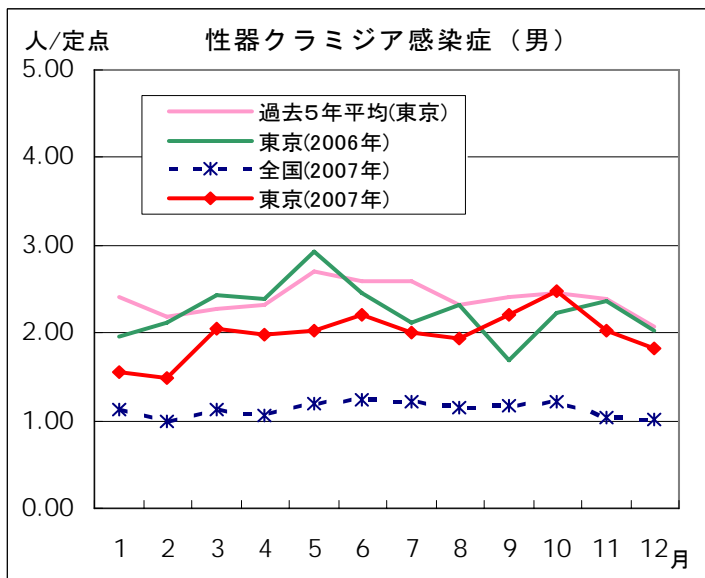
* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報 性感染症(STI)患者報告数【保健所別】 2007年12月

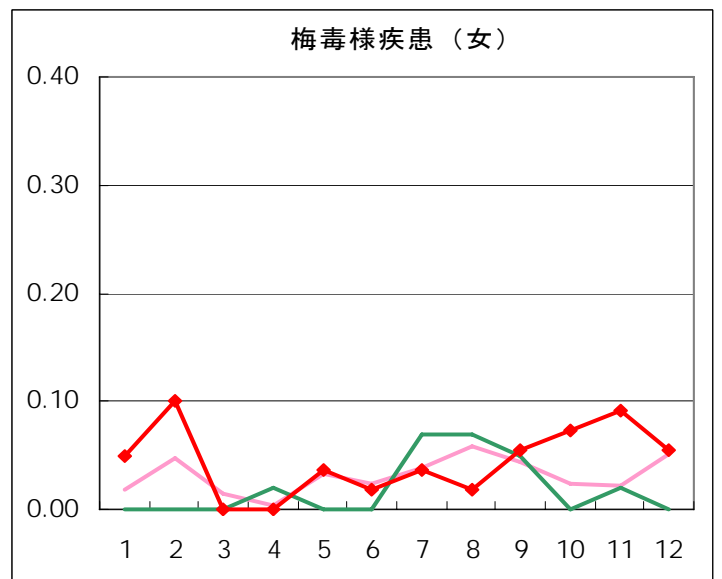
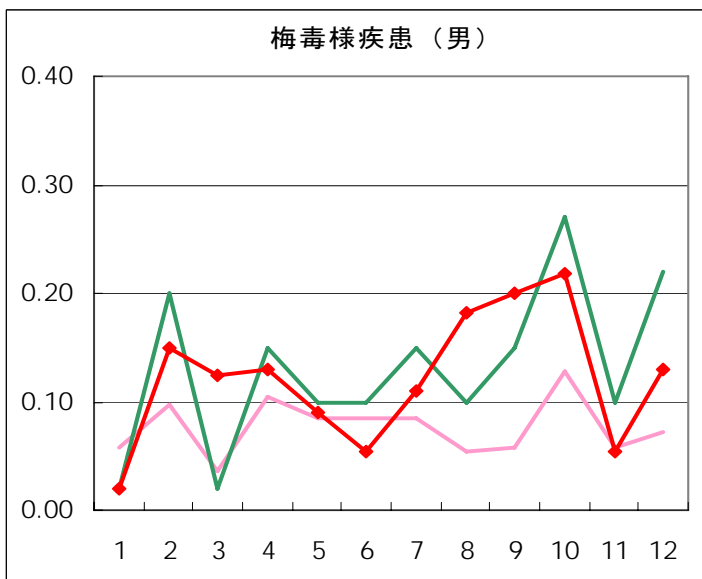
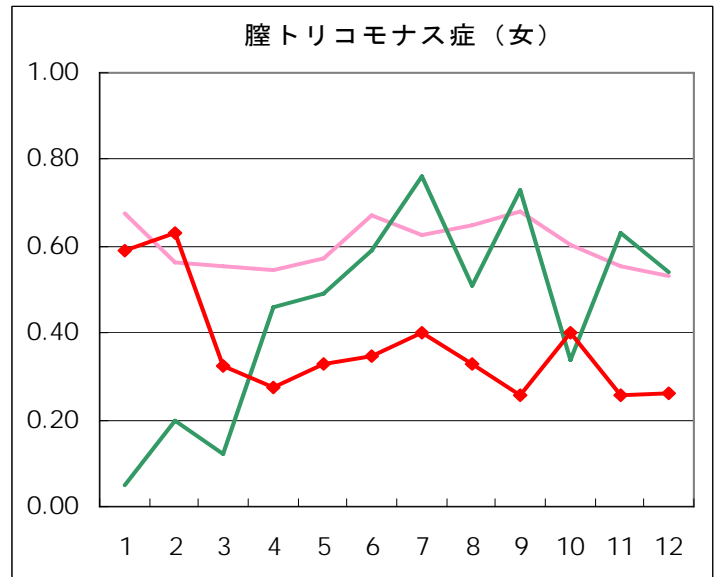
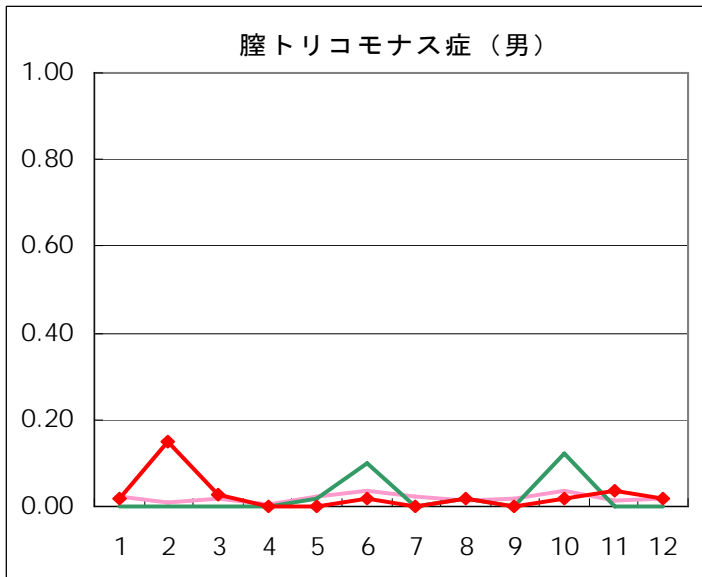
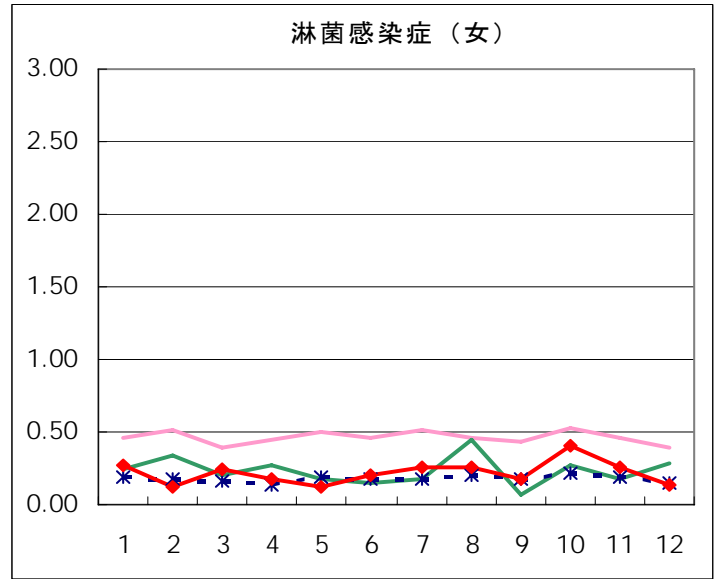
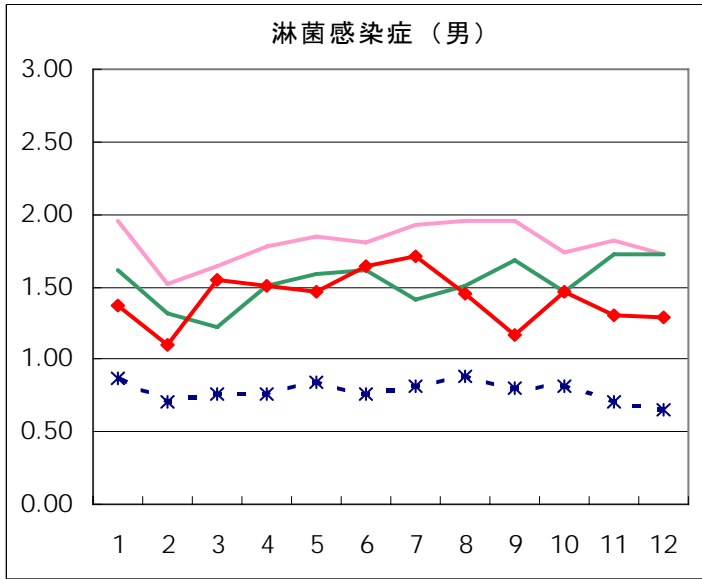
男								
保健所名	定点数	臙トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	総計
千代田	2			9	3	3	9	24
中央区	3			3			1	4
みなと	2			3	1	2		6
新宿区	6		3	29	15	21	26	94
文京	1			5	1		3	9
台東	3	1		2		1	4	8
墨田区	2			2		2	1	5
江東区	2		1	9	8	2	8	28
品川区	1				1			1
大田区	2			1				1
渋谷区	5		1	4	2	1	1	9
中野区	2			5			2	7
杉並	2			1	1	1	1	4
池袋	3		2	15	6	5	9	37
北区	1			1	1		1	3
荒川区	1							
板橋区	2					1	1	2
足立	2			3	1		1	5
江戸川	2							
八王子市	4							
町田	1							
多摩立川	2							
多摩府中	3			6		1	2	9
多摩小平	1							
合計	55	1	7	98	40	40	70	256
定点当たり		0.02	0.13	1.78	0.73	0.73	1.27	4.65

女								
保健所名	定点数	臙トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペスウ イルス感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	総計
千代田	2			1				1
中央区	3	1		5				6
みなと	2	2		20	3	1		26
新宿区	6	1	1	9	10	4	2	27
文京	1					3		3
台東	3	2	1	12	2	2		19
墨田区	2							
江東区	2				1	1		2
品川区	1							
大田区	2			5				5
渋谷区	5		1	5	5	4		15
中野区	2	1		4		1		6
杉並	2	1			1			2
池袋	3			7	1	3		11
北区	1							
荒川区	1			3	3			6
板橋区	2	1		4	2	1	1	9
足立	2			1				1
江戸川	2	2		9	1		1	13
八王子市	4	2		8		2	1	13
町田	1			2	3		1	6
多摩立川	2	1		8	3	6	1	19
多摩府中	3							
多摩小平	1			1				1
合計	55	14	3	104	35	28	7	191
定点当たり		0.25	0.05	1.89	0.64	0.51	0.13	3.47

月報 性感染症(STI) 患者報告数【推移グラフ】 2007年12月

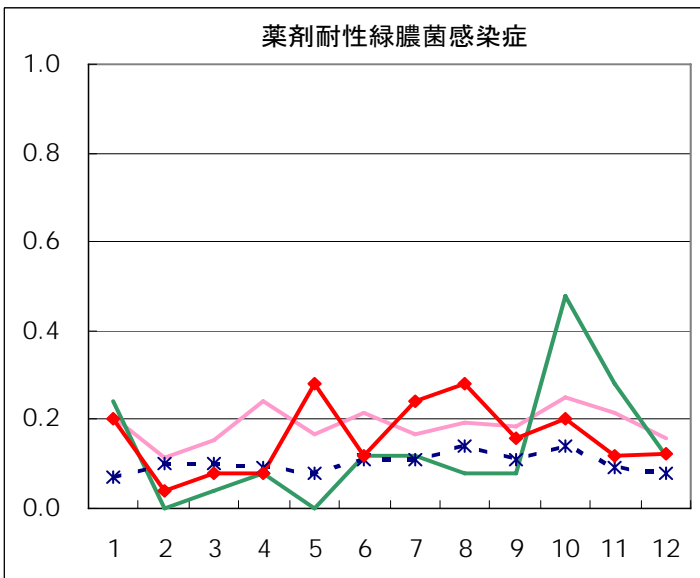
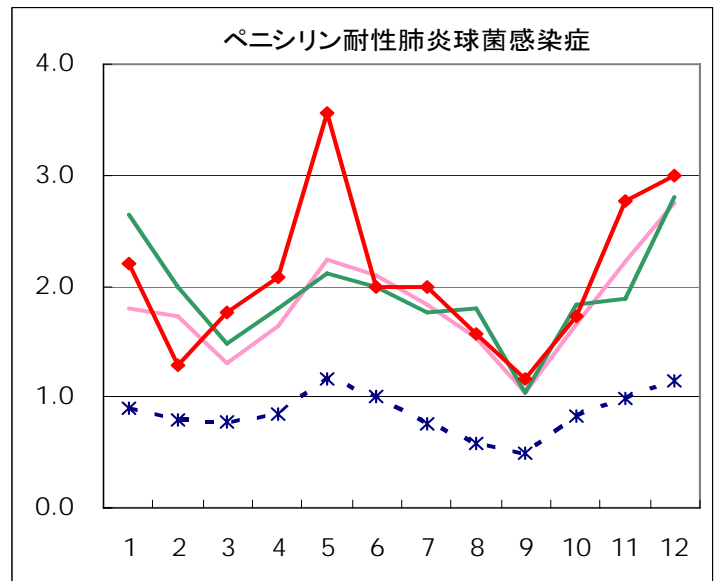
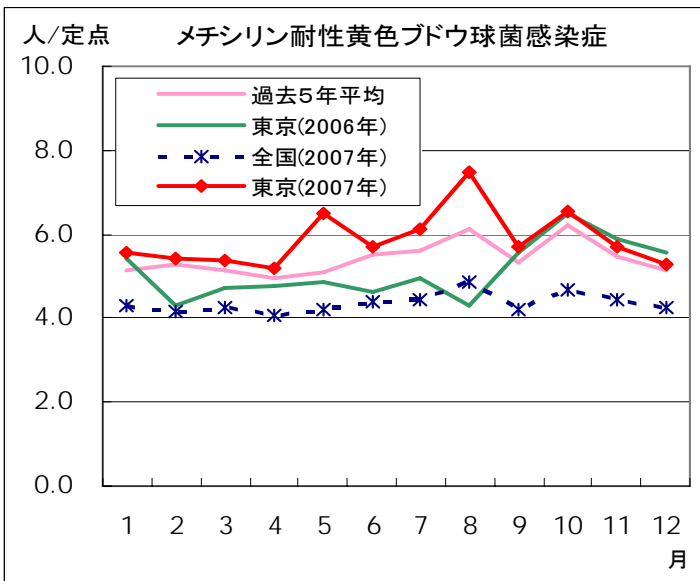


月報



薬剤耐性菌感染症 患者報告数【推移グラフ】 2007年12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	139	136	134	130	162	143	153	187	142	163	142	127	1758
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	55	32	44	52	89	50	50	39	29	43	69	72	624
薬剤耐性緑膿菌感染症	5	1	2	2	7	3	6	7	4	5	3	3	48



疾病別の定点医療機関数			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告定点数
性感染症 (STI)	性器クラミジア感染症	55	55
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	膺トリコモナス症		
	梅毒様疾患		
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	24	24
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検体試料	検出病原体	検査法
12/5	性器クラミジア	35	男	尿	淋菌	遺伝子・分離
12/6	性器クラミジア	46	男	尿	髄膜炎菌	分離
12/6	ヘルペス疑い 過去にHPV+	26	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物、 血清	ヒト単純ヘルペスウイルス1型、 クラミジア	遺伝子
12/7	コンジローマ	43	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
12/13	コンジローマ	28	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物、 血清	ヒトパピローマウイルス6型、 クラミジア	遺伝子
12/14	ヘルペス	24	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物、 血清	クラミジア	遺伝子
12/17	淋病疑い	26	男	尿	淋菌	遺伝子・分離
12/18	コンジローマ	24	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物、 血清	ヒトパピローマウイルス56型、 クラミジア	遺伝子
12/19	尖圭コンジローマ (肛門)	43	男	コンジローマ切除病変	ヒトパピローマウイルス11型 ヒトパピローマウイルス18型	遺伝子
12/19	性器クラミジア	42	男	尿	淋菌	遺伝子・分離
12/19	(性感染症疑い)	23	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物、 血清	カンジダ アルビカンス	分離
12/20	尿道炎、 クラミジア疑い	31	男	尿	クラミジア	遺伝子
12/20	性器クラミジア	47	男	尿	淋菌	遺伝子・分離
12/25	ヘルペス (性感染症疑い)	27	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物、 血清	ヒトパピローマウイルスcand89型 ヒト単純ヘルペスウイルス2型 クラミジア	遺伝子
12/26	淋菌性尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌	遺伝子・分離
12/26	クラミジア性尿道炎	29	男	尿	クラミジア	遺伝子
12/26	クラミジア疑い	27	男	尿	クラミジア	遺伝子
12/28	クラミジア	21	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア	遺伝子

〈感染症豆知識〉

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症は五類感染症の定点把握疾患で、 β -ラクタム薬、マクロライド、ニューキノロン薬など多くの薬剤に多剤耐性を示す感染症で、臨床的特徴は術後患者や免疫不全患者に日和見的に感染・発症(高齢者が好発年令)し、病型として肺炎、敗血症、腸炎などがある。従来、MRSA を含む黄色ブドウ球菌はヒトの皮膚や鼻咽腔、腸管の常在菌で、患者のほか健常者も保菌し、特に抗菌薬投与中の患者では保菌率が高まる。MRSA 感染症は院内感染症として発生することが多いが、最近では市中感染型 MRSA の報告もみられる。院内感染に關与する MRSA の多くはコアグラゼ II 型で、エンテロトキシン C 型の株が多い。本症の感染経路は主に手指を介する接触感染(例えば医療従事者の手指)と保菌部位から深部臓器への自己感染である。症状は感染部位により異なり、発熱、疼痛、咳、喀痰、下痢など多彩で、なかにはショックを併発することがある。

確定診断は感染部位ごとに検体(血液、喀痰、糞便、膿、尿など)から黄色ブドウ球菌を分離し、併せてオキサシリンの MIC $\geq 4 \mu\text{g/ml}$ またはオキサシリンの感受性ディスクの阻止円の直径 $\leq 10\text{mm}$ を確認する。治療は塩酸バンコマイシンを 1 回 1g、1 日 2 回、点滴静注(MRSA 腸炎には本剤内服も有効)するが、ほかにテイコプラニン(タゴシット) 1 回 400mg(1 日 1~2 回)点滴やアミノ配糖体系のアルベカシン(ハベカシン) 1 回 200~400mg、1 日 1 回点滴も有効である。上記薬剤はいずれも腎障害があり、併用は避ける。またこれら抗 MRSA 薬の投与時には血中濃度モニタリング(TDM)を行うことが望ましい。

(文責 (財)性の健康医学財団 理事長 松田静治)